

現在の風景

県道飯能寄居線日高市との境付近
昭和30年代後半（村田才次さん提供）

昭和30年代後半、現在の埼玉医科大学国際医療センター前の道路を、日高方面から撮影した写真です。当時は、道が舗装されておらず、住宅の周りには畑が広がっていました。現在では、新飯能寄居線の建設工事が進められています。新飯能寄居線はもうじき完成する予定です。

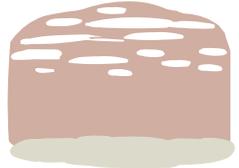
お知らせ

長い間、広報もろやまの裏表紙の顔として続けさせていただいた毛呂山思い出写真館は、掲載可能な写真が不足しているため、今後の掲載継続が難しくなっています。昭和60年代ごろまでの昔の写真が皆さんの家庭にも眠っていませんか？ 写真を貸していただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295) 2112内線332までご連絡ください。

後然歳時記



秋になると、澄みわたった青空に特徴的な雲の群れが見ることがあります。「鯛雲」や「うろこ雲」というこれらの雲の名を皆さんも耳にされたことがあるでしょう。



「鯛雲」も「うろこ雲」も、呼び方は違っているものの明確な区別はありません。青空に白い小石を並べたような雲の群れが、海原を泳ぐ鯛の大群や魚のうろこのように見えたことから、名づけられました。また、「鯛雲」が出ると、実際の漁でも鯛が大漁になると漁師さんの間では言われてきました。

「鯛雲」や「うろこ雲」よりも雲の塊が大きいものは、サバの背にある斑点模様に似ていることから、「鯖雲」と呼ばれています。「鯛雲」「うろこ雲」「鯖雲」。これらは全て、地上より5~13キロメートル上空にできる「巻積雲」という雲の種類に属しており、天気の下り坂に向かう時によく見られます。

さらに、これらによく似た雲に「ひつじ雲」があります。モコモコとした可愛い姿がまるでひつじの群れのように見えることから名づけられました。「ひつじ雲」は、地上2~7キロメートルくらいの上空にできる「高積雲」に属します。俳句の世界では「天高し」という秋の季語がありますが、実際のところ、秋は雲が比較的高い位置に出ることが多いため、空が高いところにあるように見えます。

ところで、桂木観音下に先月ベンチが出来ました。空が澄んだ日には、空に少しだけ近いあの場所から、どんな秋の雲が眺められるのでしょうか。



広報マンになって1年半がたちました。イベントの取材に行くと、毎回たくさん笑顔に出会います。その瞬間の表情を逃さないようにシャッターを切るのなかなか難しいものです。秋はイベントが盛りだくさん！「今月のとびきりスマイル」の表紙に、私の撮った写真が載せられるように、がんばります(N)

わがやのアイドル



森泉 優愛ちゃん
(1歳2か月)

いつも元気な優愛ちゃん!! 外で遊ぶの大好き。いたずら大好き。明日は何して遊ぼうかな? たくさんお友達できるといいね☆ 幸せをありがとう。



高木 奏弥くん
(10か月)

毎日モリモリ食べて元気にマルマルになりました。得意技はピアノを弾くことです♪ これからもたくさん食べて元気に育てね。

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・☎ 役場秘書広報課 ☎(295) 2112 内線 332

人口 36,291 人 (-1 人)
【男 18,084 人 (+6 人) 女 18,207 人 (-7 人)】
世帯 15,792 戸 (+12 戸)
※平成 23 年 10 月 1 日現在 (カッコ) 内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。

